SSL設定マニュアル書

Thunderbird (設定変更方法)



1.デスクトップやスタートメニューより 『Mozilla Thunderbird』をクリックして 起動してください。





┃ 2.画面右上の[メニュー]-[アカウント設定]を クリックします。



🌈 株式会社 No.1

3.今回SSL化したいアドレスの 『サーバー設定』をクリックしてください。

☑ 受信トレイ - 1 1 ア	プカウント設定 ×
✓ ☑ サーバー設定 送信控えと特別なフォルダー 編集とアドレス入力 迷惑メール ディスク領域 エンドツーエンド暗号化	アカウント設定 - アカウント名(N): 既定の差出人情報 このアカウントで使用する既定の差出人 名前(V):
開封確認 ✓ ☑ サーバー設定 送信控えと特別なフォルダー	メールアドレス(<u>E</u>): 返信先 (Reply-to)(<u>S</u>): 受信者か 組織 (Organization)(<u>O</u>):
迷惑メール ディスク領域 エンドツーエンド暗号化 開封確認	署名編集(<u>X</u>): HTMI



4.『サーバー設定画面』が表示されます。 赤枠内を下記に変更してください。

設定	×
サーバー設	定
サーバーの種類	: POP メールサーバー
サーバー名(<u>S</u>):	ポート(<u>P</u>): 110 C 既定値: 110
ユーザー名(<u>N</u>):	
セキュリティ誘	(定
接続の保護(<u>l</u>	リ: なし 🗸
認証方式(<u>l</u>):	暗号化されたパスワード認証 🗸

サーバー名	mail-lb.no1-server28.com
ポート	995
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証



┃ 5.左側の『送信(SMTP)サーバー』を クリックしてください。

⊡	受信トレ	ิฬ -	🗊 アカウント設
	∨⊠		
		サーバー設定	
		送信控えと特別なフォル	レダー
		編集とアドレス入力	
		迷惑メール	
		ディスク領域	
		エンドツーエンド暗号化	
		開封確認	
	∨ ⊠		
		サーバー設定	
		送信控えと特別なフォノ	レダー
		編集とアドレス入力	
		迷惑メール	
		ディスク領域	
		エンドツーエンド暗号化	
		開封確認	
	~ 🗀	ローカルフォルダー	
		迷惑メール	
		ディスク領域	
	Đ	送信 (SMTP) サーバー	

🍼 株式会社 No.1

6. 今回SSL化したいアドレスをクリックし、 右側の編集をクリックしてください。

送信 (SMTP) サーバーの設定

複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバーをこのリストから選択できます。[既定のサーバーを使用する] を選 択すると、このリストの既定のサーバーを使用します。

@no1-server28.com - mail-lb.no1-server28.com (既定)	追加(<u>D</u>)
	編集(<u>E</u>)
' →1@no1-server28.com - mail-lb.no1-server28.com	
	削除(<u>M</u>)
	既定値に設定(<u>T</u>)



7.『送信(SMTP)サーバー』が表示されます。 画像の赤枠内を下記に変更し、OKをクリックし てください。

	送信 (SMTP) サーバー	×
設定		
説明(<u>D</u>):		
サーバー名(<u>S</u>): 「	mail-lb.no1-server28.com	
ポ−ト番号(<u>P</u>):	465 😴 既定值: 465	
セキュリティと認証	E	
接続の保護(<u>N</u>):	SSL/TLS 👻	
認証方式(<u>I</u>):	通常のパスワード認証 🖌	
ユーザー名(<u>M</u>):	test001@no1-server28.com	
	OK キャンセル	

サーバー名	mail-lb.no1-server28.com
ポート番号	465
接続の保護	SSL/TLS
認証方式	通常のパスワード認証



8.左上の『タブ』をクリックし、 Thunderbirdを再起動します。





9. パスワード入力画面が表示されます。 パスワードを入力し、 『□パスワードマネージャーにこのパスワードを 保存する。』にチェックを入れてください。 OK』をクリックして完了です。

	›.com のパスワードを入力してください	×
?	mail-lb.no1-server28.com サーバーのユーザー	.com のパスワードを入力してください:
	□パスワードマネージャーにこのパスワードを保存する。	
	OK キャンセ	JL

